

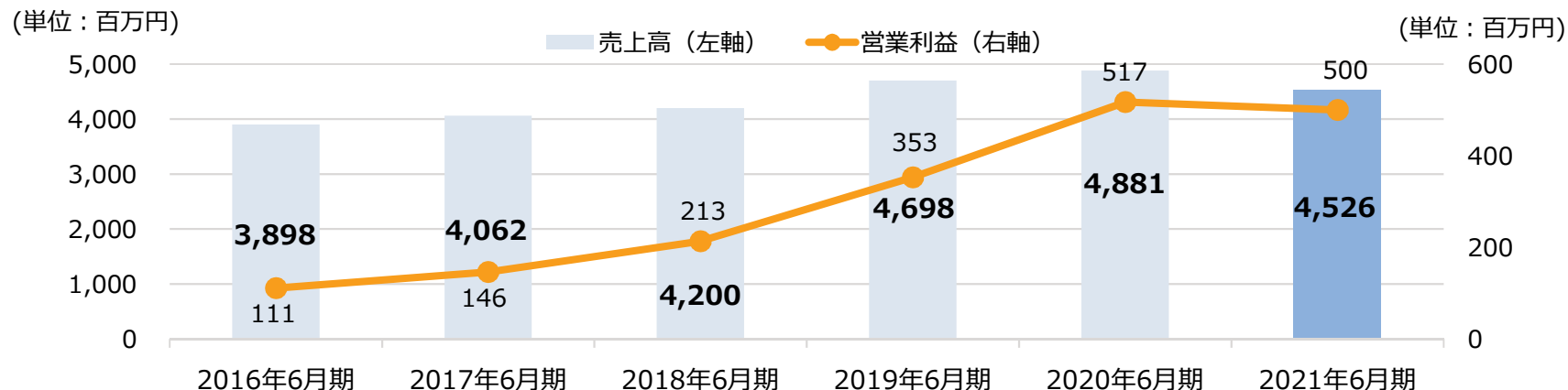
2021年6月期（第30期） 決算ハイライト

2021年8月4日
アクモス株式会社

目次	■ 連結業績推移……………	2	■ 株主還元……………	19
	■ 2021年6月期 総括……………	3	■ 対処すべき課題……………	20
	■ 新型コロナウイルス感染症について……………	4	■ 参考資料……………	21
	■ 連結営業利益分析……………	5		
	■ 連結売上高・営業利益推移……………	6		
	■ 連結キャッシュ・フロー推移……………	7		
	■ 連結財政状態……………	8		
	■ セグメント情報 ITソリューション事業……………	9		
	■ セグメント情報 ITサービス事業……………	10		
	■ 長期ビジョン2025・中期経営計画Ⅱ……………	11		

連結業績推移

売上は減少したものの、各利益項目ともに当初予想を上回る



	2021年6月期			
	通期実績	予想 (2020/8/4発表)	増減額	増減率
売上高	4,526百万円	4,910百万円	▲383百万円	▲7.8%
営業利益	500百万円	420百万円	80百万円	19.1%
経常利益	502百万円	425百万円	77百万円	18.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	358百万円	270百万円	88百万円	32.9%
株主資本利益率(ROE)	16.1%	12.0%	-	-
時間当たり付加価値	3,622円	3,600円	22円	-
営業利益率	11.1%	9.0%	-	-

2021年6月期 総括

連結業績

売上高 4,526百万円（前期比7.3%減）、営業利益 500百万円（前期比3.3%減）

- 入札案件など一時的な売上増加要因がなくなり前期比で売上減
- 新型コロナウイルス感染症による業績への影響は当初想定より軽微
- テレワークを積極的に推進し効率的な業務対応を進めたことにより、営業利益以下の利益項目は当初の予想を上回る

セグメント別事業の概況

ITソリューション事業

SI・ソフトウェア開発分野 売上高 2,961百万円（前期比7.1%減）

- ・ 公共系開発案件や消防通信指令システムの定期改修業務など堅調に推移
- ・ 前期から続く民間向けシステム更新案件の取り組みを継続
- ・ 地図情報関連は地方自治体業務や森林ICTプラットフォーム等を中心に取り組む

IT基盤・ネットワーク構築分野 売上高 1,257百万円（前期比3.8%減）

- ・ 官公庁の仮想デスクトップやグループウェア、テレワーク環境構築等に取り組む
- ・ パートナー商材を活用した構築案件など製品・サービスの販売が伸長
- ・ 自社セキュリティ製品は他社との提携等もあり堅調に推移
- ・ 病院内システム運用保守は前期と同水準の稼働数を維持

ITサービス事業

情報処理サービス分野 売上高 320百万円（前期比20.9%減）

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で集合形式のイベント関連業務が減少、ストレスチェック業務でも実施延期やお客様の予算縮小等があり業務量が減少

株主還元

- 期末配当は当初予想の1株当たり9円を上回る、1株当たり11円を予定

新型コロナウイルス感染症について

事業への 影響

ITソリューション事業

- ・業績への影響は当初計画作成時の想定より若干軽微。本業の技術を活用してテレワークを積極的に推進し、効率的な業務対応を進める。

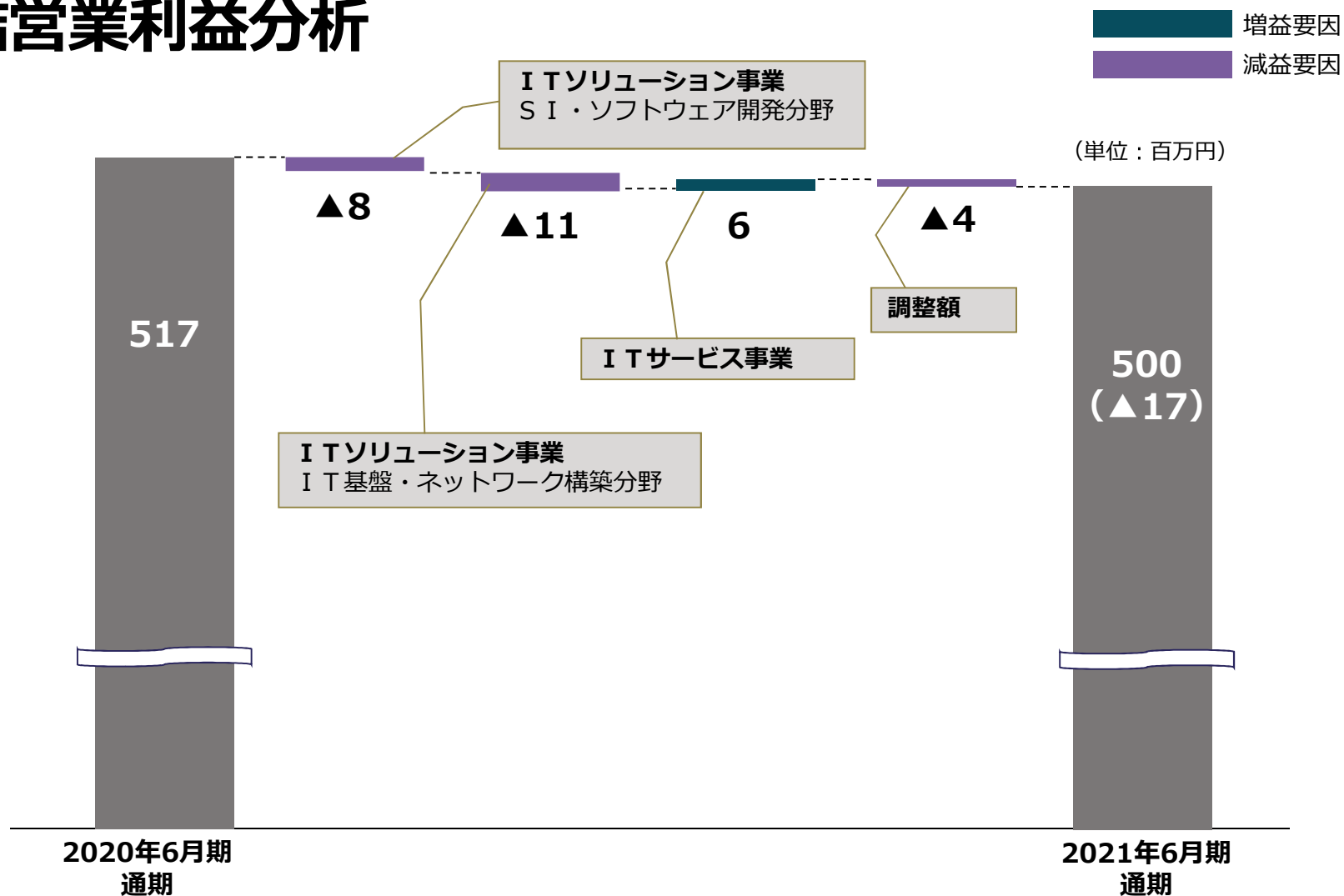
ITサービス事業

- ・前期から引き続き、集合形式のイベントの中止や延期がアンケートや試験事務局の案件に影響。
- ・ストレスチェック業務でも実施の延期、お客様側の業績悪化による予算縮小などの影響あり。
- ・全体的な業務量の減少により、一時休業を行うとともに雇用調整助成金を活用して人件費圧縮を図る。

従業員への 対応

- ・感染防止策として引き続き、マスク着用やうがい・手洗いの徹底、テレワークの活用、会議や研修等でのリモート対応などの取り組みを継続。
- ・研修の参加者や遠隔地への出張者には独自にPCR検査を実施し、お客様や社員への感染リスク低減に努める。

連結営業利益分析



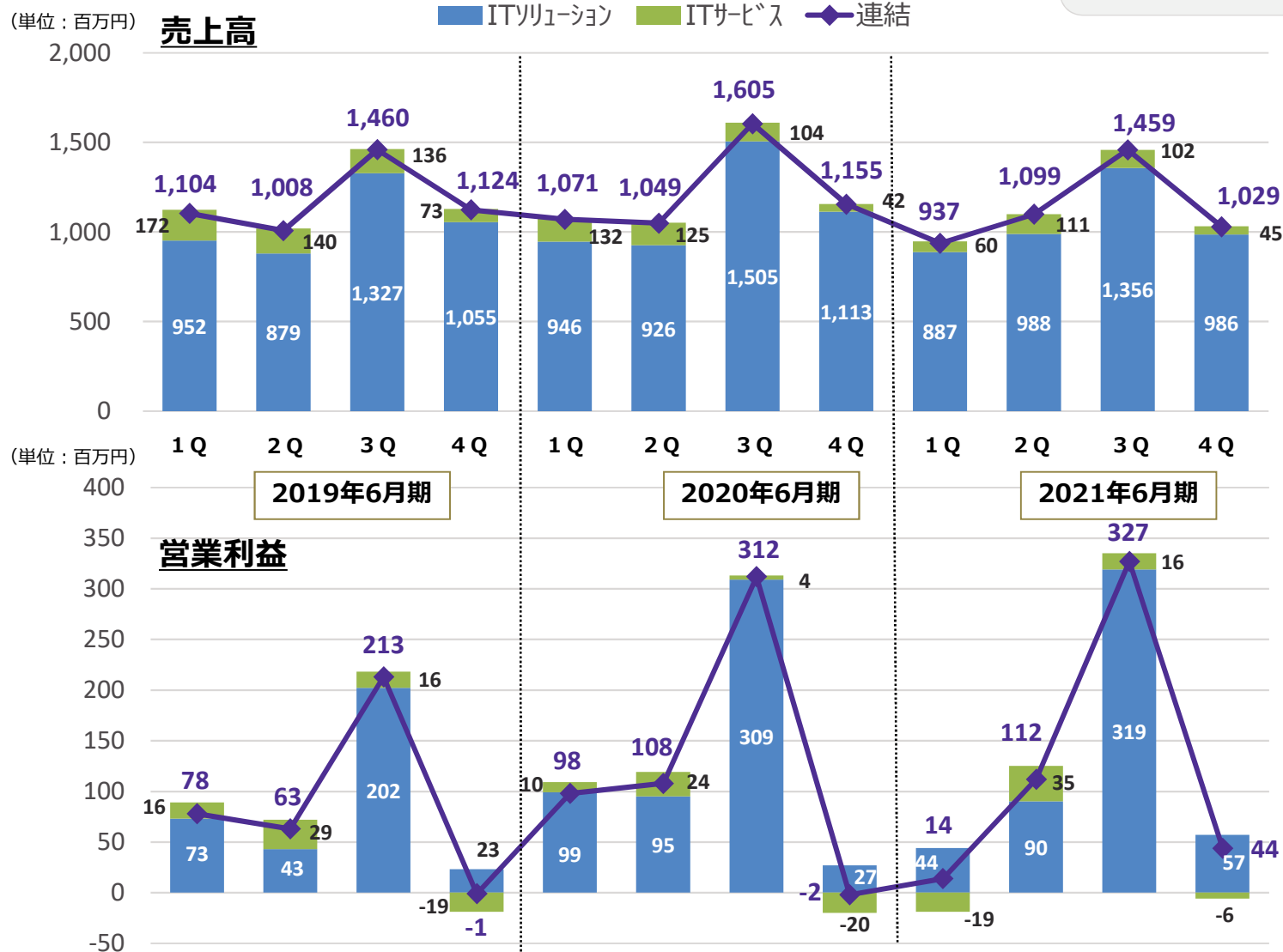
売上▲355百万円 (SI・ソフトウェア開発▲224, IT基盤・ネットワーク構築▲49, ITサービス▲84, 調整+3)

営業費用▲338百万円 (SI・ソフトウェア開発▲216, IT基盤・ネットワーク構築▲38, ITサービス▲91, 調整+8)

※各セグメントの状況については、P9,10に記載しております。

連結売上高・営業利益推移

国内法人のお客様の多くが3月決算であることから、3月末にあたる第3四半期末において、売上が多く計上される傾向があります。



※各セグメントの売上高・営業利益には、内部取引分を含んでおります。
連結の数値は、内部取引相殺後となっております。

連結キャッシュ・フロー推移



ITソリューション事業は、下期の3月末の売上計上が多く、下期において売掛金を回収するために、営業キャッシュ・フローが下期に増加する傾向にあります。

営業キャッシュ・フロー 290百万円

- ・法人税等の支払額 ▲194百万円
- ・仕入債務の減少 ▲47百万円
- ・たな卸資産の減少 21百万円
- ・税金等調整前当期純利益 502百万円
- ・減価償却費 47百万円

投資キャッシュ・フロー ▲26百万円

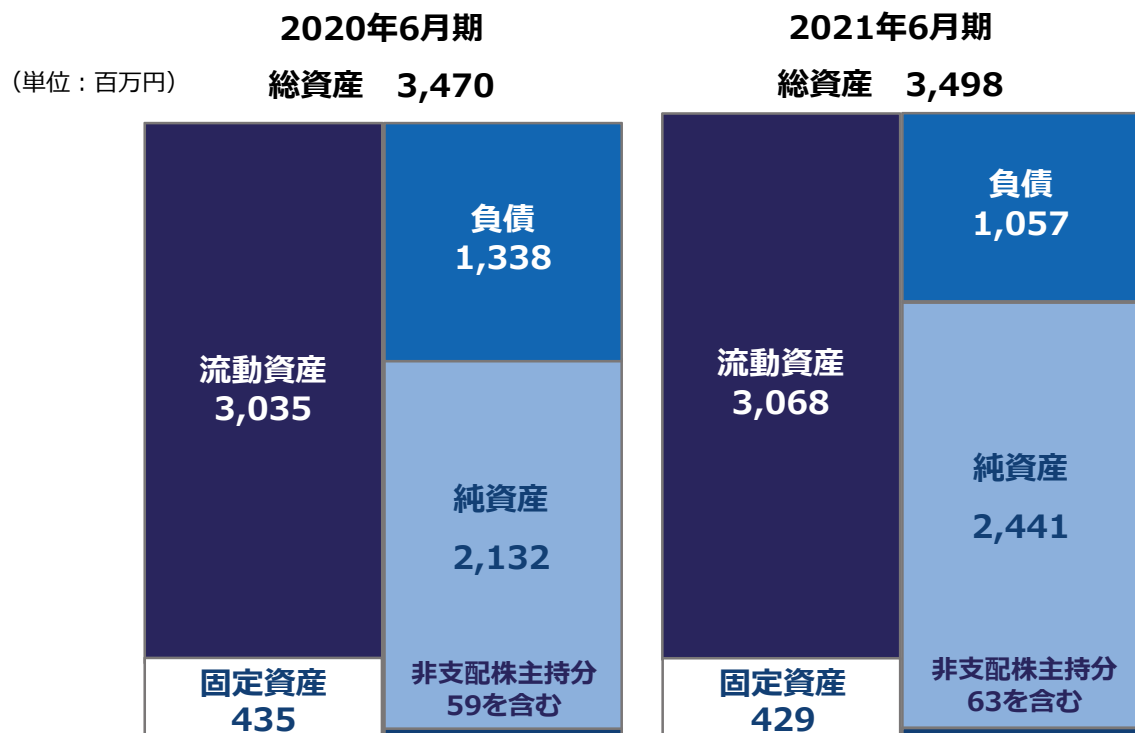
- ・有形固定資産の取得による支出 ▲12百万円
- ・無形固定資産の取得による支出 ▲14百万円

財務キャッシュ・フロー ▲203百万円

- ・短期借入金の純減額 ▲45百万円
- ・長期借入金の返済による支出 ▲49百万円
- ・配当金の支払額 ▲105百万円

連結財政状態

総資産は前期比で増加。自己資本比率は68.0%



(資産)

・現金及び預金の増加	60百万円
・投資有価証券の増加	31百万円
・受取手形及び売掛金の減少	18百万円
・商品の減少	13百万円
・有形固定資産の減少	10百万円
・無形固定資産の減少	15百万円

(負債)

・買掛金の減少	47百万円
・短期借入金の減少	45百万円
・長期借入金(1年内含む)の返済	49百万円
・未払金の減少	74百万円
・未払費用の減少	21百万円
・未払法人税等の減少	33百万円

(純資産)

・親会社株主に帰属する 当期純利益	358百万円
・譲渡制限付株式報酬による 資本剰余金の増加	25百万円
・その他有価証券評価差額金の 増加	21百万円
・配当金の支払い	106百万円

(単位：百万円)

	2020年6月期	2021年6月期	増減
設備投資 + 研究開発費	75	43	▲31
減価償却費	45	47	2
有利子負債	218	123	▲94

セグメント情報 ITソリューション事業

入札案件など一時的な売上増加要因がなくなり前期比で売上減も、営業利益は当初想定を上回る

(単位：百万円)

	2020年6月期 通期	2021年6月期		
		通期	増減額	増減率
売上高	4,493	4,218	▲274	▲6.1%
外部	4,476	4,203	▲272	▲6.1%
内部	16	14	▲1	▲8.9%
営業利益	531	511	▲19	▲3.7%

事業の概況 ※売上高、営業利益の()内は前期比

●SI・ソフトウェア開発分野

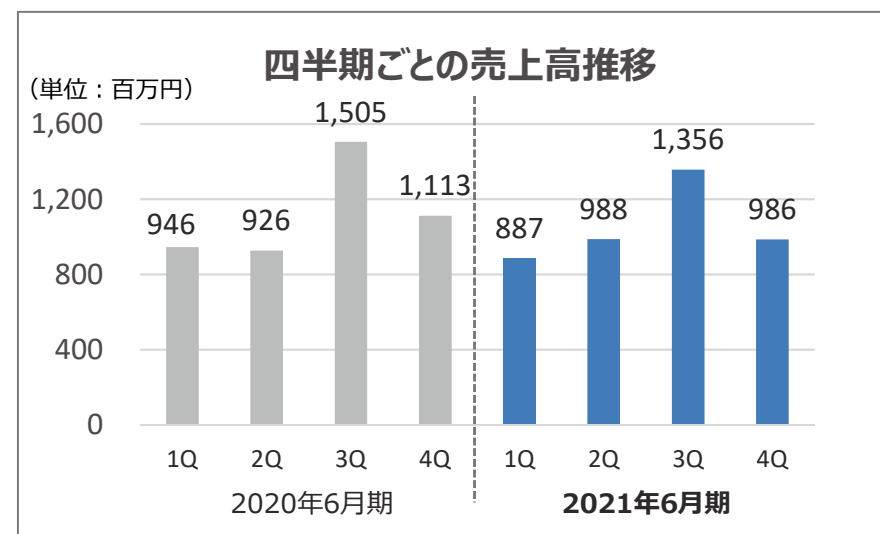
売上高2,961百万円(▲7.1%)、営業利益368百万円(▲2.2%)

- ・公共系の開発案件や消防通信指令システムの定期改修業務などが堅調に推移。
- ・地図情報関連は、森林ICTプラットフォーム関連、消防GISや防災関連システム構築等を中心に取り組む。

●IT基盤・ネットワーク構築分野

売上高1,257百万円(▲3.8%)、営業利益142百万円(▲7.2%)

- ・官公庁の業務基盤、仮想デスクトップやグループウェア、テレワーク環境の構築、運用保守や関連装置の納入などに取り組む。



セグメント情報 ITサービス事業

新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、前期比で売上減

(単位：百万円)

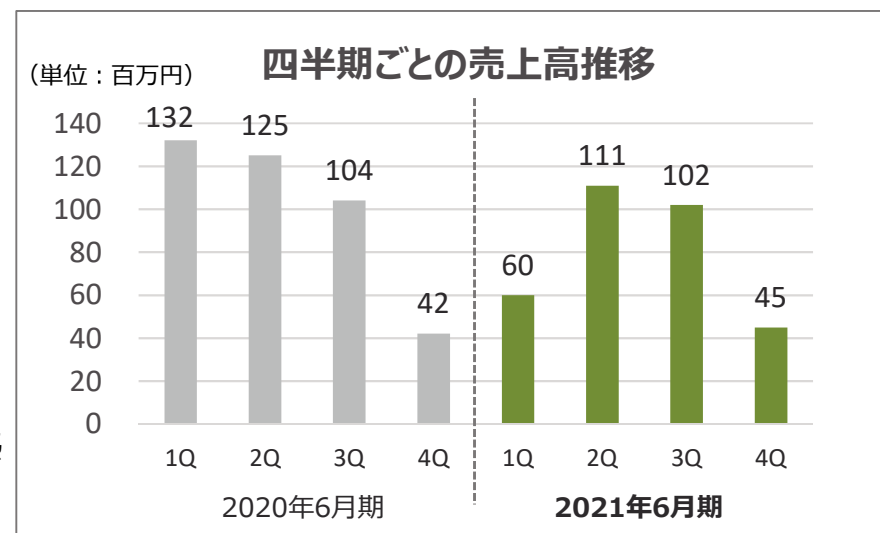
	2020年6月期	2021年6月期		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	404	320	▲84	▲20.9%
外部	404	320	▲84	▲20.9%
内部	0	0	0	—
営業利益	19	26	6	35.1%

事業の概況 ※売上高、営業利益の()内は前期比

● 情報処理サービス分野

売上高320百万円(▲20.9%)、営業利益26百万円(+35.1%)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、集合形式のイベントの中止・延期がアンケートや事務局の業務に影響。また、ストレスチェック案件では実施の延期、お客様側の業績悪化による予算縮小などの影響あり。
- ・一時休業し雇用調整助成金を活用して人件費を圧縮、外注コスト見直しや内製化で原価コストの削減を推進。
- ・既存のお客様への深掘り営業を図るも新型コロナウイルス感染症の影響により新規商談機会の獲得が難しく売上減。



長期ビジョン2025

中期経営計画Ⅱ (2019/07~2022/06)

長期ビジョン2025

私たちは輝くICTサービスで社会の向上に貢献します。

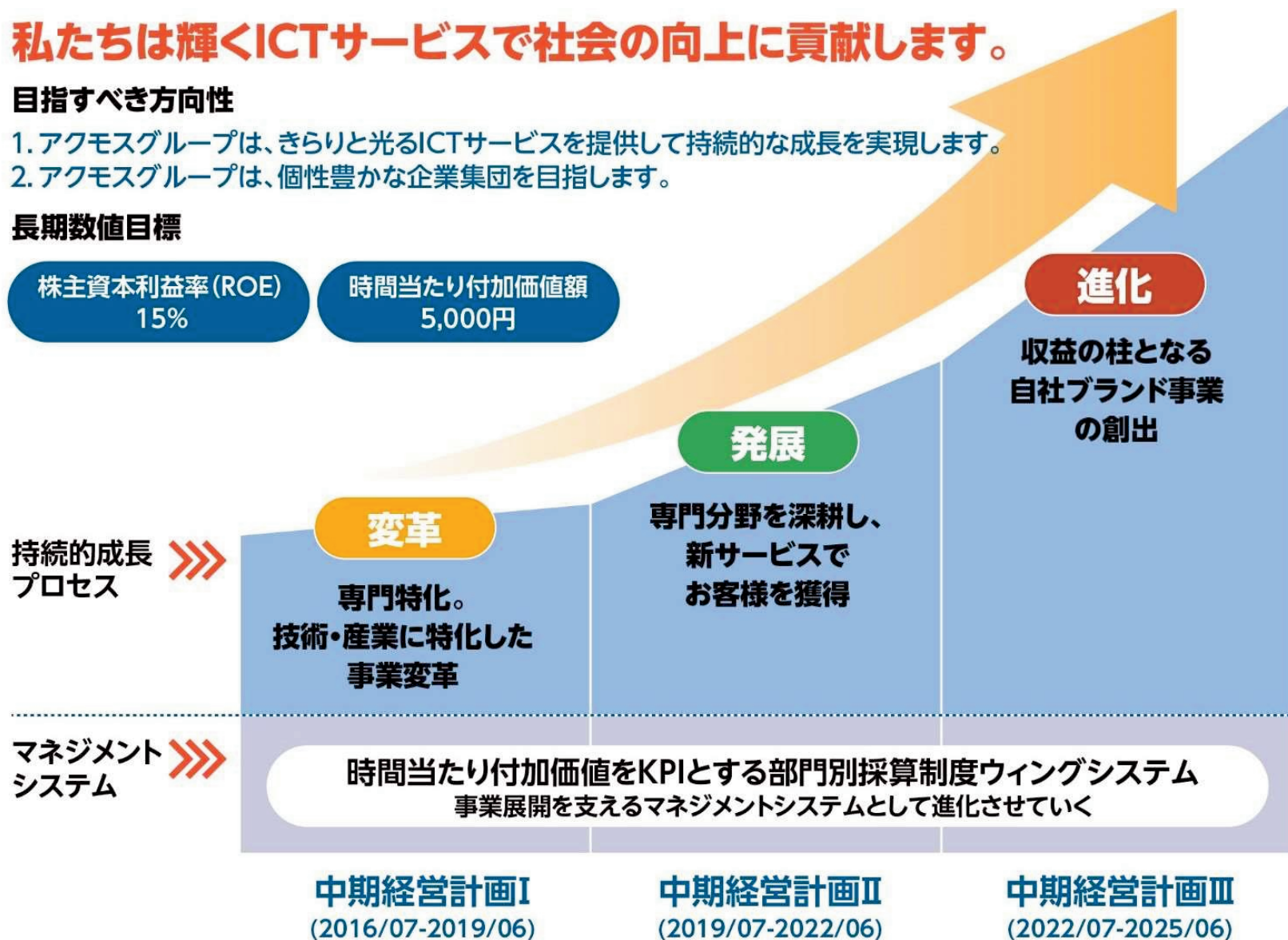
目指すべき方向性

1. アクモスグループは、きらりと光るICTサービスを提供して持続的な成長を実現します。
2. アクモスグループは、個性豊かな企業集団を目指します。

長期数値目標

株主資本利益率 (ROE)
15%

時間当たり付加価値額
5,000円



中期経営計画Ⅱ (2019/07-2022/06)

個性豊かなグッドカンパニーへ

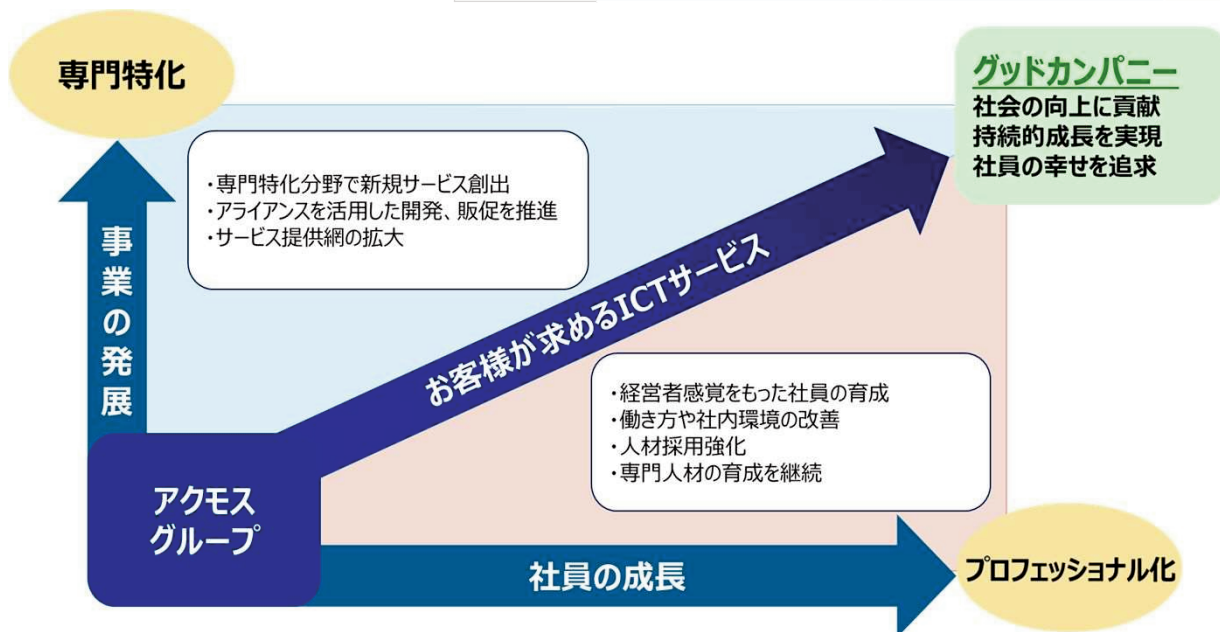
発展

専門分野を深耕し、
新サービスでお客様を獲得

事業の方向性

専門特化分野を強化し、
付加価値アップによる既存事業の収益力向上と、
成長の種となる自社サービスの創出・展開を推進

	ITソリューション		ITサービス
事業分野	SI・ソフトウェア開発	IT基盤・ネットワーク構築	情報処理サービス
専門特化分野	自治体（消防・防災）、 宇宙、自動車、空間情報	情報セキュリティ、医療	健康、教育



組織戦略

部門別採算管理ウィングシステムを引き続き推進し、
事業のさらなる進化を目指す

人材育成

- ・戦略的採用活動の推進による人材採用の強化
- ・専門性を高めるための人材育成を継続
- ・生産性向上にむけた働きやすい環境の整備

中期経営計画Ⅱ(2019/07-2022/06)

進捗と今後の取り組み

2022年6月期は、主要事業領域での事業の拡大と次期中期計画Ⅲにつながる付加価値の高いビジネスの探求を目指します。

連結業績については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、現時点で入手可能な情報により合理的と考える内容のみを織り込んだうえで、ITソリューション事業において既に受注している官公庁案件の計上と、人員増加による売上増が見込まれることから、下表のとおり予想しております。

連結	第29期 2020年6月期	第30期 2021年6月期	第31期 2022年6月期	
	実績	実績	予想	中期経営計画値
売上高	4,881百万円	4,526百万円	5,000百万円	5,600百万円
営業利益	517百万円	500百万円	510百万円	560百万円
経常利益	527百万円	502百万円	510百万円	560百万円
親会社株主に 帰属する当期純利益	335百万円	358百万円	345百万円	370百万円
株主資本利益率 (ROE)	17.4%	16.1%	13%	15%
時間当たり付加価値	3,730円	3,622円	3,800円	4,000円
営業利益率	10.6%	11.1%	10%	10%

※2022年6月期の計画については、本日発表の「第31期経営計画に関するお知らせ」に詳細を記載しております。

中期経営計画Ⅱ(2019/07-2022/06)進捗

SI・ソフトウェア開発

専門特化分野：自治体(消防・防災)、宇宙、自動車、空間情報

自治体(消防・防災)

- ・消防通信指令システムは、納品先の定期メンテナンスを実施。
また、システムの改良を推進。

宇宙関連

- ・前期までに引き続き、衛星追跡・軌道情報システム案件に参画。

地図情報関連

- ・民間の既存取引先の案件のほか、地方自治体の統計調査関連や、森林ICTプラットフォーム関連、消防GISや防災関連システム構築などを中心業務を推進。

中期経営計画Ⅱ(2019/07-2022/06)進捗

IT基盤・ネットワーク構築

専門特化分野：情報セキュリティ、医療

情報セキュリティ

- ・標的型攻撃メール対応訓練ソリューションのサービス強化や営業活動を推進。
製品ページや紹介動画を制作、製品ブログやメールマガジンを開始し、WEBマーケティングを強化。
追加契約・契約更新を含め、累計ライセンス数は14万超。
- ・標的型攻撃メール対応訓練ソリューションが、
大同生命保険株式会社の提供する中小企業向け「標的型攻撃メール対応訓練サービス」に採用。
- ・マルチクラウドアーキテクチャーの構築と運用に役立つ製品・ソリューションを提供する
Nutanix社のリセラーパートナーに認定。

医療系システム関連

- ・病院内システム運用・保守は、前期と同水準の稼働数を維持。
- ・医療系システムでは、新システムへのデータ移行や仮想化デスクトップ案件に取り組むも、
新型コロナウイルス感染症の影響もありスポット案件が減少。
- ・ジェイズ・コミュニケーション株式会社と販売代理店契約を締結し、医療機関向けに
情報保護(情報漏えい対策)プラットフォーム『RevoWorksシリーズ』の取り扱いを開始。

中期経営計画Ⅱ(2019/07-2022/06)進捗 情報処理サービス

専門特化分野：健康、教育

健康関連サービス

- ・クラウド健康管理システム『LIFEDESK®』の機能・サービスの強化を推進。
紙の健康診断結果のデータ化サービスなどの営業活動を進める。
- ・健康ソリューションから従業員向けの3つのアンケートサービスを、
新規取引法人に対して期間限定価格で提供するキャンペーン実施(2021/2/1~/4/30)。

EAP関連

- ・ストレスチェック業務でシェア拡大のため営業活動を推進するも、
実施の延期、お客様側の業績悪化による予算縮小などの影響があり受注減。

※EAP：従業員支援プログラム

中期経営計画Ⅱ(2019/07-2022/06)進捗 部門別採算管理制度ウィングシステム

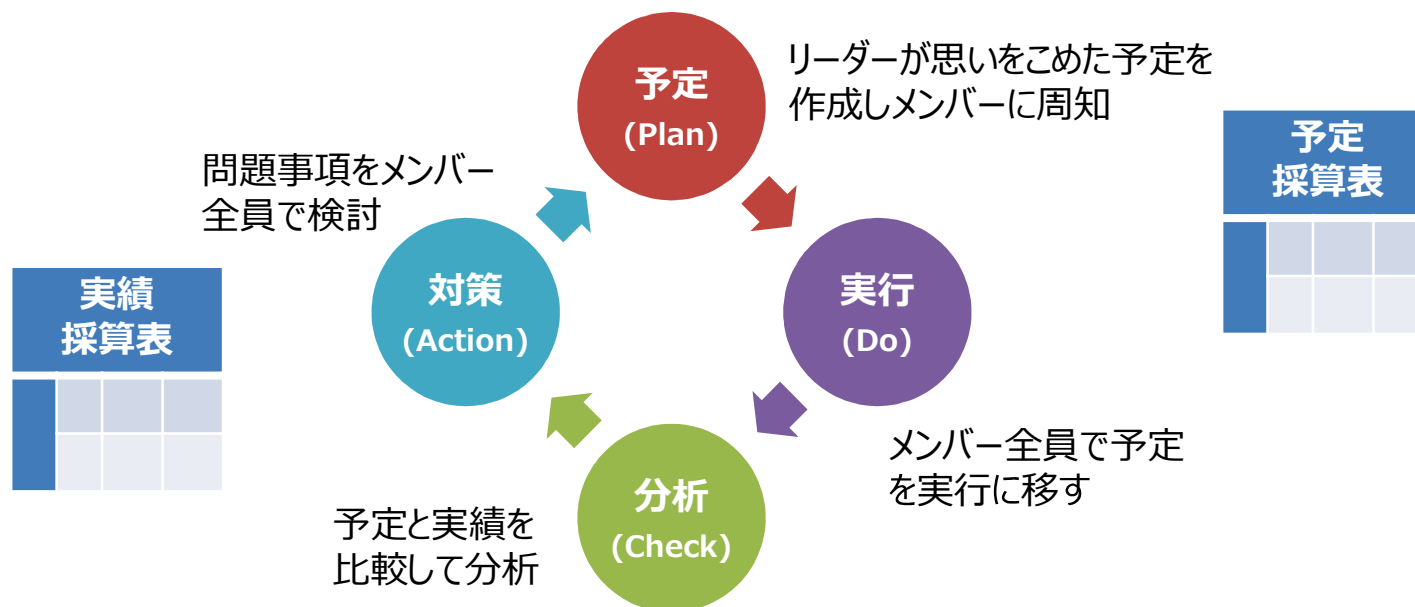
2017年6月期よりグループ全社で導入。

グループ各社では、時間当たり採算表(実績)の作成を進め、指標「時間当たり付加価値」を活用した小集団ウィングごとの採算管理を実施。

アクモス単体では、期首に年間計画であるマスタープランを作成し、PDCAサイクルを回しながらの採算管理を推進。

当社の時間当たり付加価値の計算式

$$(\text{収入} - \text{労務費以外の経費}) \div \text{総時間} = \text{時間当たり付加価値}$$



株主還元

安定的な期末配当の継続を目指す

2021年6月期の期末配当は、1株当たり11円を予定しており、
2021年9月28日開催予定の第30回定時株主総会に付議いたします。

2022年6月期の期末配当予想は、1株当たり普通配当11円、上場25周年を記念した記念配当2円
の合計13円としております。

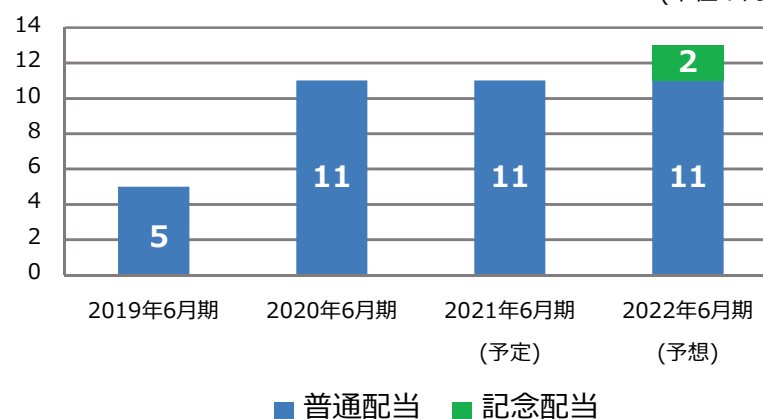
配当政策

当社は株主の皆様に対する安定的な配当の実現を中長期的な重点課題として位置づけ、
利益配分に関する基本方針に基づき配当を決定しております。

【利益配分に関する基本方針】

- ・連結の親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向30%以上を目標に、
連結業績と内部留保を勘案し、配当を行う
- ・配当原資確保のための収益力向上を図る
- ・財政基盤の強化に努める

配当の状況（1株当たり年間配当金）
(単位：円)



対処すべき課題

当社グループは、社会インフラや行政サービスを支える各種のITソリューションを提供する企業として、大規模災害発生時や新型コロナウイルス感染症の拡大等による非常時においても、お客様に安心・安全なサービスを提供するため事業を推進してまいります。また、自社のセキュリティリスクへの対応に努めるとともに、セキュリティ分野での製品、サービスの提供を通じ、お客様の情報セキュリティリスクの低減に貢献してまいります。

企業として持続的な成長を実現していくため、更なる付加価値の向上を行うことを重要な課題として捉えており、以下の取り組みを推進してまいります。

1. 人財の確保と育成

- ・各事業の成長分野に必要な人財像に基づいて採用基準の適正化を図り、人財の質と量を確保する。
- ・ITソリューション事業分野でのお客様ニーズに対応するべく、特に首都圏でのネットワーク&インフラエンジニアの拡充を図るため、新入社員の集中教育プログラムを立ち上げる。
- ・専門特化分野での専門性を発揮できるよう、資格取得支援等の専門性の向上に引き続き取り組む。
- ・自社グループ内やビジネスパートナー企業との連携を深め、ITソリューション事業分野で技術者の確保に努める。

2. 製品・サービスの拡充

- ・中期経営計画の専門特化分野の情報セキュリティ、消防・防災、空間情報、地図情報等に関連する分野で、アライアンスを推進し、製品やサービスの研究開発を行う。

3. 営業力の強化

- ・新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ柔軟な営業方法で感染リスクを防止しながら受注計画を達成する。
- ・アライアンスパートナーとの連携やWEBマーケティング活用等により、新規開拓に努める。

4. 働く環境の変化への対応

- ・コミュニケーション方法や研修制度を環境変化に適応させ、社員が幸せを感じられるような働く環境を整える。

参考資料

アクモスグループ事業

当社グループは、事業持株会社の当社及び連結対象の子会社3社で構成されており、事業セグメントの区分をITソリューション事業、ITサービス事業の2つに分類しております。

ITソリューション事業



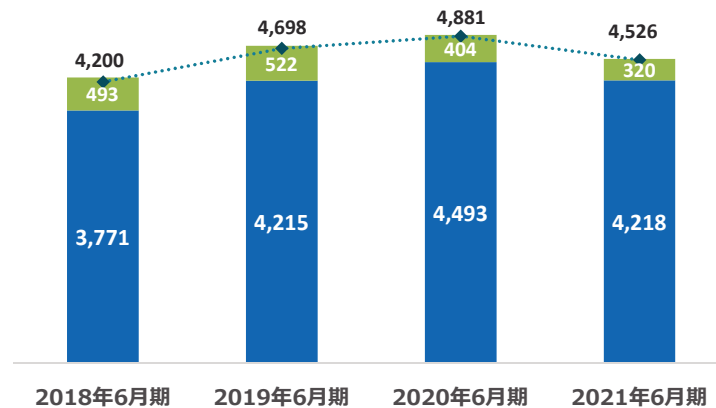
- ITサービス事業
- ITソリューション事業
- ◆ 連結

ITサービス事業



セグメント別 売上高推移

(単位：百万円)



アクモスグループ一覽

アクモス株式会社

設立 1991年8月 資本金 6億9,325万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
TEL : 03-5217-3121 FAX : 03-5217-3122 URL : <https://www.acmos.co.jp>
お問合せ先 hp_biz@acmos.co.jp
主要取引先 株式会社日立製作所、富士通株式会社、茨城県、茨城県警察本部、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、東日本電信電話株式会社、KDDI株式会社 他



ACMOSソーシングサービス株式会社

設立 1981年3月 資本金 1,300万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
TEL : 03-5217-3332 FAX : 03-5217-3334 URL : <http://www.acmos-ss.jp>
お問合せ先 info@acmos-ss.jp
主要取引先 日本電気株式会社、NECソリューションイノベータ株式会社、東京医科大学病院、株式会社インテック、日野自動車株式会社 他



株式会社ジイズスタッフ

設立 1997年3月 資本金 5,000万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8
TEL : 03-5217-3131 FAX : 03-5217-3134 URL : <http://www.gstf.jp/>
お問合せ先 inquiry@gstf.jp
主要取引先 官公庁、大学、民間企業、労働組合 他



ASロカス株式会社

設立 1980年1月 資本金 1億円
所在地 〒260-0024 千葉県千葉市中央区中央港1丁目22番7号
TEL : 043-203-5301 FAX : 043-302-2077 URL : <http://www.as-locus.jp/>
お問合せ先 sales@as-locus.jp
主要取引先 株式会社マッブル、一般財団法人消防防災総合センター、総務省、林野庁、千葉県、八王子市他官公庁、住友林業株式会社 他



2021年6月末現在

連結貸借対照表(要約)

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	2,289,019	2,349,416	買掛金	167,044	119,405
受取手形及び売掛金	624,881	606,650	短期借入金 ※1	209,920	123,560
たな卸資産	86,670	65,643	未払金	258,498	183,600
その他	34,540	46,875	未払費用	429,235	407,767
流動資産合計	3,035,111	3,068,587	その他	264,750	216,695
有形固定資産	195,387	185,001	流動負債合計	1,329,448	1,051,029
無形固定資産	65,604	49,688	長期借入金	8,560	—
投資その他の資産	174,435	195,037	その他	64	6,086
固定資産合計	435,428	429,727	固定負債合計	8,624	6,086
			負債合計	1,338,073	1,057,116
			純資産の部		
			株主資本合計	2,066,326	2,349,520
			その他の包括利益	7,131	28,132
			累計額合計	59,008	63,545
			非支配株主持分 ※2	59,008	63,545
			純資産合計	2,132,466	2,441,198
資産合計	3,470,539	3,498,314	負債純資産合計	3,470,539	3,498,314

※1 長期借入金（1年以内）を前期末に49,920千円、当期末に8,560千円含んでおります。

※2 連結子会社AS口カス株式会社は、株式会社昭文社ホールディングスが株式の19%を所有しております。

連結損益計算書(要約)

(単位：千円)

	2020年6月期	2021年6月期		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	4,881,481	4,526,256	▲355,225	▲7.3%
売上原価	3,174,181	2,866,575	▲307,606	▲9.7%
売上総利益	1,707,300	1,659,680	▲47,619	▲2.8%
販売費及び一般管理費	1,189,891	1,159,322	▲30,568	▲2.6%
営業利益	517,408	500,358	▲17,050	▲3.3%
営業外損益	10,170	2,085	▲8,085	▲79.5%
経常利益	527,579	502,443	▲25,135	▲4.8%
特別損益	▲12,410	—	12,410	—
税金等調整前 当期純利益	515,168	502,443	▲12,725	▲2.5%
法人税等	168,324	135,989	▲32,335	▲19.2%
非支配株主に帰属する 当期純利益	11,689	7,524	▲4,164	▲35.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	335,155	358,930	23,774	7.1%

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：千円)

	2020年6月期 通期	2021年6月期 通期	増減	
営業活動によるキャッシュ・フロー	452,913	290,479	▲162,434	▲35.9%
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲102,178	▲26,430	75,747	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲85,040	▲203,651	▲118,610	—
現金及び現金同等物の増減額	265,693	60,397	▲205,296	▲77.3%
現金及び現金同等物の期首残高	1,974,908	2,240,602	265,693	13.5%
現金及び現金同等物の期末残高	2,240,602	2,300,999	60,397	2.7%

単体貸借対照表(要約)

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	1,535,955	1,609,798	買掛金	115,203	82,753
受取手形及び売掛金	489,369	467,950	短期借入金	155,000	105,000
たな卸資産	21,528	27,920	未払金	126,406	87,601
その他	32,832	50,138	未払費用	307,773	306,485
流動資産合計	2,079,685	2,155,807	賞与引当金	19,508	18,796
有形固定資産	165,263	163,050	その他	229,348	202,438
無形固定資産	24,025	23,769	流動負債合計	953,241	803,074
投資その他の資産	561,666	587,769	長期借入金	—	—
固定資産合計	750,955	774,589	その他	64	6,086
			固定負債合計	64	6,086
			負債合計	953,306	809,160
			純資産の部		
			株主資本合計 ※	1,870,202	2,093,103
			評価・換算差額等合計	7,131	28,132
			純資産合計	1,877,334	2,121,235
資産合計	2,830,640	2,930,396	負債純資産合計	2,830,640	2,930,396

※ 自己株式を前期末に▲53,933千円、当期末に▲48,226千円含んでおります。

単体損益計算書(要約)

(単位：千円)

	2020年6月期	2021年6月期		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	3,324,657	3,083,135	▲241,522	▲7.3%
営業利益	370,147	372,324	2,177	0.6%
経常利益	395,091	398,839	3,748	0.9%
当期純利益	271,280	298,636	27,356	10.1%

単体業績予想

単体	2021年6月期 通期実績	2022年6月期 通期予想	
売上高	3,083百万円	3,500百万円	13.5%
経常利益	398百万円	400百万円	0.3%
当期純利益	298百万円	290百万円	▲2.9%
1株当たり当期純利益	30.69円	29.69円	—

※ 2022年6月期の予想数値は、発表日時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。

■ 本資料について

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。今後、当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、需給関係等の変化にともない、業績見通しに変更される可能性があります。

また、本資料は、当社の株式購入など投資を勧誘する目的で作成されたものではありません。

なお、本資料の将来の見通しについての記述に関しましては、法令上その手続きが必要となる場合を除き、事前の予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

アクモス株式会社 経営企画管理部

TEL : 03-5217-3123

HP : <https://www.acmos.co.jp/>